

2020年1月26日(日)朝10:10~  
1月第4公同主日礼拝式説教

主の降誕節第5、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：耳のある人は、聞きなさい(15節)

聖書：マタイ 11章12~15節

<口語訳>

新約聖書16~ 頁

マタイ 11章12~15節

<新共同訳>

新約聖書20~ 頁

マタイ 11章12~15節

<新改訳第3版>

新約聖書20~ 頁

マタイ 11章12~15節

<塚本訳>

新約聖書97~98頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

**序論：**

◇マタイ書は、**使徒マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇マタイ5～7章は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。

◇本日のマタイ11:12～15は、**御子イエス・キリスト様**が、**先駆けの預言者ヨハネ**をマラキ書4:5～6で預言されたエリヤであると証言され、「**天の国**は、激しく襲われている」(12)と、予告されました。

⇒「**天の国**は、激しく襲われている」の理解は、はっきりとした解釈が定まっていませんので、本日は、「**天の国**を人々が、が熱心に求めている」という立場で、理解していきます。

⇒**ヨハネ**は、旧約最後の預言者として、エリヤの靈を受けて預言し、罪を悔い改めて、**救い主、神の御子イエス・キリスト様**を求めるように、道備え(バプテスマ<洗礼>)をしたのです。

⇒**ヨハネ**には、派手さは全くなく、毛衣を着、野蜜や蝗を食べていましたのですが、人々は、大勢彼のところへ押し寄せていたのです。

**本論；**

◇本日、マタイ書11章12～15節から主の使信に思い・心vousをとめます。

◆マタイ11章12～15節；使徒マタイは、神の御子イエス・キリスト様が、ヨハネの働きに対し、彼を「(先駆け)としてきたるべき(預言者)エリヤである(マラキ書4:5、6)と示し、「天の国は、激しく襲われている」と予告されたのです。

◇11:12～15節；塚本訳◆イエス、ヨハネをほめる

「12 とにかく、洗礼者ヨハネの(現れた)時から今まで、天の国は暴力で攻め立てられ、暴力で攻めた者がそれを奪いとっている。

13 すべての預言書と律法と[聖書]が預言しているのは、ヨハネ(の現われる時)まで(で、天の国はすでに来ているの)だから。

14 (今わたしが言ったことを)信する気があなた達にあるなら(わかることだが、)ヨハネこそ、(救世主の先駆けとして)来るべき(預言者)エリヤである。

15 耳のある者は聞け。」と、使徒マタイは主のことばを語っています。

◇12～15節；「とにかく、洗礼者ヨハネの（現れた）時からいままで、天の国は暴力で攻め立てられ、暴力で攻めた者がそれを奪いとっている(12)」、「すべての預言書と律法と[聖書]が預言しているのは、ヨハネ(の現われる時)まで(で、天の国はすでに来ているの)だから(13)」、「(今わたしが言ったことを)信ずる気があなた達にあるなら(わかることだが、)ヨハネこそ、(救世主の先駆けとして)来るべき(預言者)エリヤである(14)」、「耳のある者は聞け(15)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、**ヨハネ**を旧約最後の偉大な預言者と評価し、エリヤ(I列王18章)の靈を受けた者であると語って下さったのです。

⇒エリヤは、イゼベル女王の偶像バアル礼拝を罪として訴え、王アハブにも警告を与えました。

⇒**ヨハネ**は、イスラエルの指導者を蝮(*έχιδνα*)の末と断じ、悔い改めを求めました。指導者たちも、自分の本心を偽り、**ヨハネ**からバプテスマを受けようとしたからです(マタイ3:7～12)。

⇒「蝮(*έχιδνα*)」は、「邪惡」の象徴で、ユダヤ人指導者に留まらず、すべての人の心にいる。

- ⇒「**預言者**」は、サムエルを先見者と呼びましたので、先を読むという意味合いがありますが、基本的には、「**神のみことばを預かる者**」です。
- ⇒**ヨハネ**は、「しもべ」として、「**悔い改め**」を求めるみことばを託されました。
- ⇒今日の私たちは、資質からは、はるかに**ヨハネ**に及ばない者ですが、**御子イエス・キリスト様の十字架の贖い**による**神の救い**を受けて、**神の子たる身分**を得ていますので、**ヨハネ**に勝る特権を与えられています。
- ⇒**SY師**によると、**ヨハネ**と私たちの違いは、「**神のこども**」、と「**神のしもべ**」の内容の それです。別の意味で、**神のしもべ**とも言いますし、主も、**神のしもべ**と言いますが、靈肉の違いがありますが、「**十字架を背負って主に従う者** (38)」の意味です。
- ⇒マタイは、**マタイ28:19、20**に見るよう、ユダヤ人の救いという領域から「すべての造られた者」へと、宣教の領域が広くされています。主が再臨して、**神の国(天の国)**を完成して下さるまで、宣教の使命は託されており、時代を超えたバトンタッチが必要です。

## 結論：

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日の**マタイ11:12～15**は、**御子イエス・キリスト様**が、先駆けの預言者ヨハネをマラキ書4:5～6で預言されたエリヤであると証言され、「**天の国**は、激しく襲われている」(12)と、予告されました。  
⇒「**天の国**は、激しく襲われている」の理解は、本日は、「**天の国**を人々が、が熱心に求めている」という立場で、理解していきます。
- ⇒**ヨハネ**は、旧約最後の預言者として、エリヤの靈を受けて預言し、罪を悔い改めて、**救い主、神の御子イエス・キリスト様**を求めるように、道備え(バプテスマ<洗礼>)をしたのです。
- ⇒**ヨハネ**には、派手さは全くなく、毛衣を着、野蜜や蝗を食べていましたのですが、人々は、大勢彼のところへ押し寄せていたのです。

⇒**御子イエス・キリスト様**も、貧しい身なりでした。

⇒併し、主は、**神のひとり子**であり、私たちは、**神の子たる身分**を与えられています。

⇒ヨハネは、旧約の最大の**神の預言者**という身分を与えられていますが、**先駆け**に留まるのです。

⇒私たちは、**神の恵み**を誇りましょう。

⇒ヨハネ1:12、13;塚本訳

12 しかし受け入れた人々、すなわち、その名を(神の子であることを)信じた人には一人のこらず、神の子となる資格をお授けになった。

13 この人たちとは、人間の血や、肉の欲望や、男の欲望によらず、神(の力)によって生まれたのである。